

# 海老名市にぎわい振興条例を制定

市が持つ顕在または潜在するあらゆる種類の魅力を効果的に活用し、集客力を向上させるための措置を定めることにより、市内経済の持続的発展および市全体の印象の画期的な向上を目的とするにぎわい振興条例が4月1日から施行されました。経済建設常任委員会での審査概要は次のとおりですが、本会議最終日に賛成多数により原案可決されました。

**問** 条例施行により設置されるにぎわい振興審議会では、青少年の意見を取り入れる場が必要であると考えます。

**答** 構成員については、公募などにより若者の意見が取り入れられるようになります。

**問** 学識経験者、市民公募などを想定しています。

**答** 産学連携についての考え方には、商業、工業、農業などの産業、近隣大学の観光分野の学科などと連携をしていきたいと考えています。

**問** 情報発信戦略として、現時点で想定しているものはありませんか。

**答** インターネット、SNS、新聞、電車の中吊り広告、チラシなどに加え、ブックカバーを検討しています。また、本市シティプロモーション課との連携も考えています。



## 意見

市が持つあらゆる資源を活用していく意欲的な内容であり、市全体を考えた戦略的な構想であることが伺えます。また、にぎわい振興審議会の委員については、さまざまな分野から選定するよう要望します。

# 一般会計・国民健康保険事業・下水道事業補正予算

今回の補正予算は、国庫補助金を活用した低所得の高齢者向けの臨時福祉給付金や情報セキュリティの抜本的強化などが主な内容です。その他、綾瀬市、座間市と連携して行う地域の魅力発信や先進技術を取り入れた農業支援システムの構築費なども計上されており、すべての補正予算が原案可決されました。審査概要は次のとおりです。

## ●総務常任委員会

**問** マイナンバー制度の情報セキュリティ強化の費用に関して、12月補正予算との相違点を伺います。

**答** 12月補正はインターネットリスクの対応のために計上しましたが、今回も補正については、総務省から提示された新たな情報セキュリティ対策事業によるものです。

## 意見

情報セキュリティの問題が頻発しているため、マイナンバー制度施行について、今後もさらなるセキュリティ強化がなされることを期待します。

## ●文教社会常任委員会

**問** 年金生活者等支援臨時福祉給付金について、どのように高齢者に届くのか伺います。

**答** 27年度の市町村民税が非課税で28年度中に65歳以上になる支給対象

者は把握済みですので、28年度の早い時期に通知します。原則、申請書を郵送していただき、1人につき3万円を振り込む流れとなっています。

**意見** 臨時給付金業務では、受給対象者に確実に給付されるよう、遺漏なく業務を遂行していただきたい。

## ●経済建設常任委員会

**問** 農業振興対策管理事業費においてICT技術による学校給食への地産地消推進システムを導入する狙いは。

**答** 農業クラウドというシステムで、農作物がいつ、どのくらいできるかを農業者と食の創造館が共有することにより、市内産の農産物を多く使っていただきたいと考えています。

**意見** 将来、農業クラウドに市内の飲食店や店舗などが参加でき、地元野菜の消費が拡大できることを期待します。